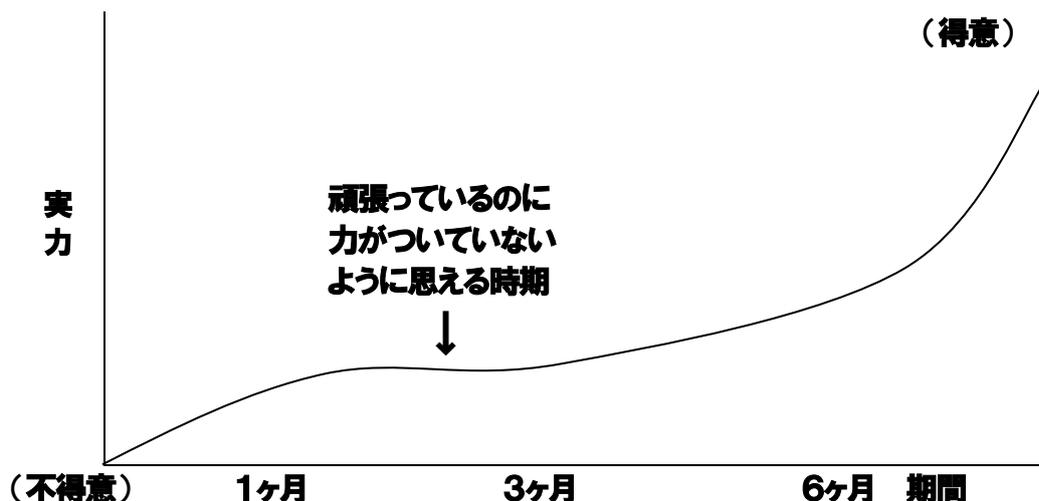


1, 2年生は新人戦がひと段落しており、学校としては2学期の中間テストが近づいてきました。そこでよくこのような質問をもらいますので、私なりの回答をしていきたいと思います。

Q 1学期の成績があまりよくなかったので、中間テストに向けて一生懸命頑張っていますがよくわかりません。努力してもダメなのでしょうか？



A 今まで多くの卒業生と出会ってきた経験や自分自身の過去を振り返った感想として「人はこのようなステップで徐々に結果に表れてくるのではないか」と思うのが、上のグラフです。

- 1ヶ月後 → 「やればできそう」
…と希望の光が見えてくる
- この間 → 頑張っているのに力がついていないように思える
…伸びが実感できないので、投げ出したくなる
- 3ヶ月後 → 続けてきてよかった。だいぶできるようになってきた
…と光が大きく見えてくる
- 6ヶ月後 → 自信がわき、成績が上がり始める
…もっとやってみたいと欲が出てくる

もちろん、勉強方法を見直したほうがよい場合や、自分ではやっているつもりでも、他から見るとたいた努力をしていないで伸び悩んでいることも多々あります。

しかし、正しい方法で努力をしても、取り組み始めて1～3ヶ月経つ頃、「こんなに頑張っているのに……」という丘のような状態の時期がくるものです。大事なことはこの時期に投げ出さないことです。自分では実感できないのですが、次のジャンプのために力が蓄えられている時期なのです。「継続は力なり」です。あきらめずに、自分の目標に向かって頑張ろう！

進路選択は君の仕事

ある進路担当の先生との話から

今まで提出した進路希望調査を担任の先生方に聞いてみると、親とよく相談してあったり、本人がよく考えたことを親が納得して提出できたもの、またはそうでないものがあり、生徒によって本当に様々ということでした。そして、希望状況を見ると、全体的には、まだまだこれからいろいろと相談し深めていかななくてはならないようです。具体的には、以下の通りです。

- 見学に行ったこともなさそうな学校を選んでいる(実際にどのように行くのか、通学にどれくらいかかるかわからない)
- 県公立高校や私立高校を1つしか考えていない(まだ現段階では、1つに煮詰めなくてもよいのでは)
- 県公立高校だけ数多くあげている。(県公立高校は1校のみしか受検できない。「併願」という受け方はできないので、ご注意を)
- 今の学習の様子からみて、合格の可能性が少ないのではないかと思われるところばかり希望している。
また、進路希望調査の締め切り直前になって、記入用紙をもらいにきたり、面談の際に「何にも考えてない」などと他人事のような人もいます。

このように、全体的にはまだまだ高校や進路先が『虚像』としてしかとらえられていない人もいます。また、「まだ気持ちがあきりしていないので〇〇君と同じでいいや」とか「△△さんがいくから私も…」などという気持ちの人もいます。これでよいのでしょうか？

進路選択だけは、君にかわって親や先生が進めてあげるといわけにはいきません。たとえ、曲がりくねった進み方でも自分の足で自分の力で選び進めていかななくてはなりません。自分はどのような進み方をするのがいいか、何が自分の性格に合っているかを真剣に考えて欲しいのです。

「自分で考えるだけでは、少しも前に進めない」と思うならば、すすんで担任の先生や君のことをよく知ってくれている先生に相談を持ちかけ、君の迷いや悩みを聞いてもらうとよいでしょう。「うちの親は自分のことなんかわかってくれない…」などと決めてかからないで、君なりの考えを腹の底からそっくりうちあけて、相談にのってもらうことです。場合によっては、ぶつかるほどの意見交換をしてもいいのです。

君が本当に伸びていくことを信じています。また、心からやる気のわき起こる結論を生み出していくことを期待しています。



願書用個人写真(主に私立)の撮影について

ここ数年、インターネットを使った出願が増えた関係で、願書に使用する証明写真の種類も多様化しています。そのことから、東中学校での受験用写真撮影は行っていません。必ず学校説明会・個別相談会で確認(写真用紙に印刷されたものか、写真のデータなのか、データはどんな種類なのか等)して、指定の写真を入手するように動いてください。ネット出願は、早い学校ですと12月初旬から始まります。宜しく願いいたします。

※証明写真が必要なのは、私立高校(専門学校含む)です。
県公立高校の願書に写真は必要ありません。